



豊中市教育センター
〒560-0033 豊中市蛭池中町 3-2-1-600
TEL 06-6844-5290
FAX 06-6840-8127
平成22年(2010年)11月12日第46号

社会の意味

連日のように児童虐待の事件が報道され、幼い命が奪われる度に、とても悲しく、心が痛みます。さまざまな要因・背景があるのですが、いずれにしても許されることではありません。私なりに考えても結局のところは「親が…」という表現で、傍観者的に他人事として終えてしまっている気がします。それで片付けても子どもは救われません。では自分に何ができるのか？ 発見したら即通告しなければなりません、結局は対処の域から抜けられないように思います。そんなことを自問自答していたら、むかし気に留めていたことを思い出しました。

10年以上前に「ロストワールド (ジュラシックパーク2)」という映画が上映されました。科学的に恐竜を復活再生し…というストーリーなのですが、この原作 (ハヤカワ文庫<マイクル クライトン(著), 酒井昭伸(翻訳)>) では仮説を立てて恐竜絶滅のメカニズムが説明されています。そこには進化論や生態学、社会学等の理論が随所に出てきており、私にとってはとても興味深い内容でした。その原作の一部を要約して、紹介します。

人類は進化し、脳の容量は二倍にも増えた。その結果、産道を通りやすくしなければならず、脳がまだ小さなうちに分娩させてしまうこととなった。そして生まれたヒトの赤ん坊は、「歩く」「食べる」をはじめ様々なことから獲得するのに、長い時間と他者からの支援が必要となった。つまり、大きな脳を獲得した代償に、わが祖先らは、何年にもわたって子どもの世話を見られるよう、新しく安定した社会組織を発達させる必要にせまられた。社会を変えたのは、脳が大きくて自分ではなにもできない子どもたちだった。子どもを育てるということは、ある意味で社会が存在する根本理由である。

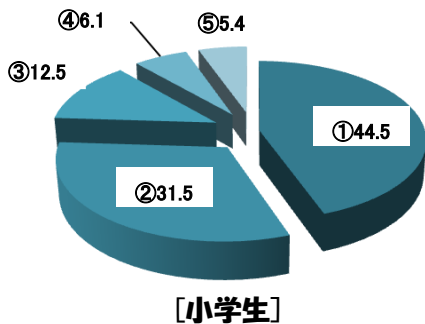
自分自身の今を考えると、つくづく一人では生きていけないなあと感じます。恥ずかしい話ですが、この歳になってようやく家族や職場の皆さん、友だち、今まで出会った多くの人たちに感謝の気持ちを持てるようになった気がします。今を生きているということにおいても、社会は大切な存在であると思います。また社会の意味するところは、子どものためであり、子どもを育てるためであると思います。最近「子育てを支援します」という表現がよく使われるようになりました。まだまだ「子育ては親の責任ですよ」と突き放してしまったり、追い詰めたりすることがあるのかも知れません。親が子どもに対して責任を負うことも当然のことですが、子どものための社会を私たち大人が造りえているのか？と問われていると思います。(井角)



ICT活用授業アンケートを実施しました。

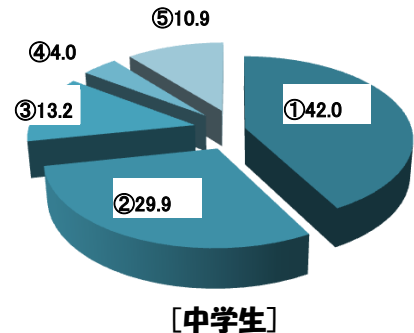
小中学校 19 校で、ICT を活用した授業の後で、その授業を受けた子どもたち(小学生 479 人、中学生 174 人)と授業者の先生方を対象としたアンケートを実施しました。その結果を一部紹介します。

(ア) ICTを活用した授業は、活用しないときよりやる気が出ますか。

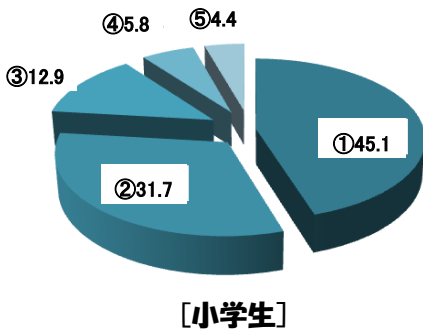


- ① そう思う
- ② だいたいそう思う
- ③ あまりそう思わない
- ④ そう思わない
- ⑤ わからない
- ⑥ 無回答

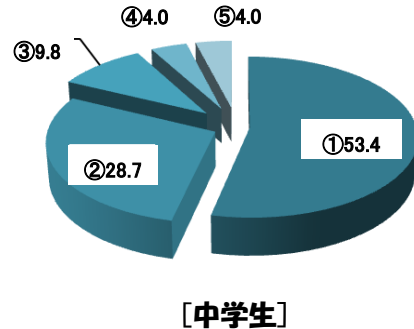
※他の設問でも上の①～⑥は共通です。
※数字の単位は%です。



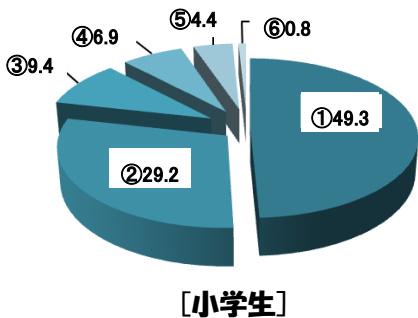
(イ) 授業でICTが使われていると、学習内容がよりわかりやすいと感じますか。



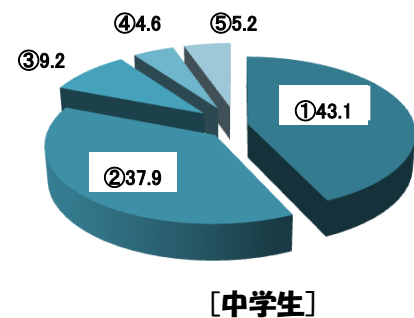
○小中ともに多くの子どもたちが肯定的な回答をしています。
○より抽象的な学習になる中学校の方が、視覚的な情報が得られることによる学習の効果が高いと言えるのかもしれませんが。



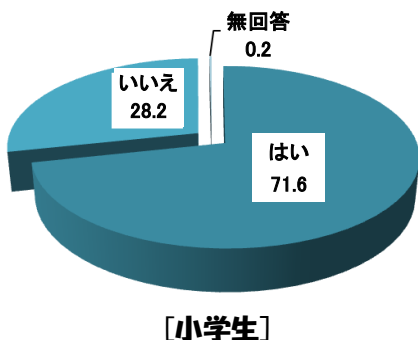
(ウ) ICTを活用した授業は好きですか。



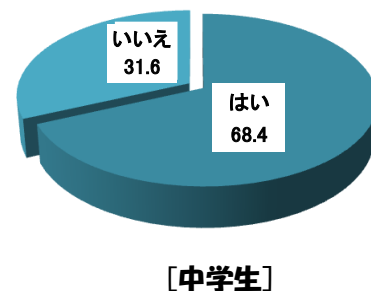
○アの設問と比較してみると、やる気にまではならないまでもICTを活用した授業が好きだと回答する子どもが一定数いることがわかります。



(エ) 家庭での学習でパソコンなどを使ったことがありますか。



○インターネット元年と言われる平成7年(1995年)に生まれた子どもがいま中学3年生。家庭学習の形も以前とは大きく様変わりしつつあるようです。より若い世代である小学生の方が高い率であることも象徴的です。



授業者の先生方 19 人にもお聞きしました

- (ア) 本日で使われた ICT 機器は何ですか。(複数回答あり)
パソコン16、実物投影機6、デジタルテレビ8、プロジェクタ11、電子黒板4、デジタルカメラ1
- (イ) ICT の活用により、先生の指示等を子どもたちに徹底させやすくなったと思われませんか。
そう思う…6 まあそう思う…12 あまりそう思わない…1
- (ウ) ICT の活用により、子どもたちにとって学習内容が理解しやすくなっていると思われませんか。
そう思う…9 まあそう思う…9 わからない…1
- (エ) 授業のどの場面で ICT 活用は効果的であると思いませんか。
導入…4 授業によりどの場面でも有効…15
- (オ) ICT を活用した授業を今後も進めようと考えておられますか。
そう思う…15 まあそう思う…4



第 56 回豊中市小中学生理科展の作品から、次の作品を大阪府学生科学賞 (10 月 30 日大阪府教育センター) に出品しました。

【出展作品】「昆虫の羽について」小曾根小 5 年西山浩暉/「せっけん不思議発見」東豊中小 5 年岸岡真伽/「ダンゴムシの右利き・左利き」野畑小 6 年鈴木和一/「洗剤の事実」東泉丘小 6 年徳永麻里子/「よみがえれケイトウの花」新田南小 6 年中村里来/「ホネがとける」新田南小 6 年田中和佳那/「タンポポの研究・冠毛のついた果実の落ちる速さ」第四中夜間学級全学年箱崎光代他 23 人(共同研究)/「植物&飲み物の防カビ力大実験」第十一中 1 年巖翔太/「豊中市の環境大丈夫～ウメノキゴケで調べよう～」第十三中 2 年杉村京香/「蝶の羽と鱗粉」第十三中 2 年植松美晴/「台風と雲の研究」第十四中 2 年井上晴香/「骨の硬さの変化について」第十六中 1 年矢部千尋

このうち、第四中学校夜間学級の作品が最優秀賞(読売新聞社賞)に選ばれました。11 月 6 日に読売新聞本社にて表彰式がありました。作品は日本学生科学賞に出展され、ただいま審査中です。日本古来のカンサイタンポポと帰化植物のセイヨウタンポポの種子の違いについて非常に興味深い研究でした。



高さ 90cm×横幅 45cm のパネル三面に実験の様子や結果考察などが、ていねいに書かれていました。

今後の主なセンター行事

【サイエンスカフェ】(センターHP、電話にて申し込みを受け付けております) *市民も対象です。
日時: 11月23日(火)・12月18日(土) 10~12時 会場: 豊中市教育センター
内容: 11月23日『ゴムはなぜ伸びるのかーものものの性質の不思議ー』講師: 大阪大学 佐藤尚弘教授
12月18日『食習慣と創薬』講師: シオノギ製薬 有田 斉 顧問

【研究協力員報告会】 *教職員のみ対象です。
日時: 1月6日(木) 13時~16時15分(予定)
会場: 豊中市教育センター
内容: ・基調講演 園田学園女子大学 堀田博史 教授 『これからの授業のあり方(仮題)』
・報告会 各教科領域による発表 等

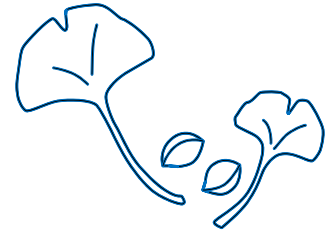
【サイエンスフェスティバル】 *市民も対象です。
日時: 1月29日(土) 12時~16時30分 会場: 市教育センター、蛍池公民館、ルシオーレホール
内容: 豊中市立小中学校や近隣の高校などの科学系クラブが、参加者が実験を体験できるブースや、面白い実験を演示するブースを作ります。ホールでの科学講演会も。現在出展団体受付中です。

ほめることの大切さ

小学校1年生のAさんは、運動会の練習で指示通りに行動できず、何度も注意されることが重なりました。そしてついに「学校に行きたくない!」と言い出したため、お母さんは心配して思いつめて相談に来られました。

相談担当者はお母さんと、Aさんをどう理解し対応すればいいのかについて話し合いました。お母さんのAさんに対する声かけや対応をねぎらい、見守り続けました。また学校の先生とも話し合い、先生はAさんの良いところを認めてほめてくれるようになりました。

ある日、お母さんはにこにこして教育センターへ来られました。「運動会でAは頑張ってちゃんとできていました」「漢字練習で花丸をもらって喜んでいました」と嬉しそうでした。



大人も子どもも、ほめられることにより自己肯定感、自信が育ち、いろいろなことへ前向きに挑戦できるようになります。

ほめるところが見つからず困る、という保護者もおられますが、普段できていること、当たり前なことでもそれをしっかりほめることが大切だと伝えていきます。

ほめる際のポイントとして・・・

- ・完全にやり終えた時にほめるのではなく、
子どもが、
好ましい行動をしようとしている時、
好ましい行動をはじめた時、
好ましい行動をしている時、
指示に従った時、
行動がよりよくなっている時、
にほめる

- ・100パーセントの結果ではなく、途中段階の努力に注目してほめる

(詳しいことはペアレント・トレーニングの文献に書かれています)

大人がほめて共に喜んでくれると、子どもは「できた!」という達成感を感じ、それが自信につながります。また、子育てに不安を抱える保護者にとっても、ねぎらいの言葉が保護者を支える力につながるように思います。(竹田)

『気になる子どもへの支援のヒントー相談事例集』大阪府教育研究所連盟 教育相談部会編
豊中市教育センター平成21年(2009年)3月発行 P42, 43「子どもを育むほめ方のポイント」
も参考にしてください。